

平成27年(2015年)11月発行

いんふおめーしょん information

(「くにたちのとしょかん」通号124号)

くにたち中央図書館

〒186-0003 国立市富士見台2-34

☎042-576-0161

くにたち北市民プラザ図書館

〒186-0001 国立市北3-1-1 9号棟

☎042-580-7220

<https://www.library-kunitachi.jp>

人権に関する本の展示

12月2日(水)～28日(月)

場所 中央図書館

北市民プラザ図書館

世界中の人間がお互いの風習と生活を理解しなければ、人と人との間に疑惑と不信を起し、無知と偏見による差別や戦争の原因となってしまいます。第2次世界大戦中では多くの方が犠牲となり、人権や尊厳が踏みにじられてきました。その反省から世界各国がお互いを理解し平和を守ろうと、1948年12月10日、第3回の国際連合総会にて「世界人権宣言」が採択されました。日本でも毎年12月4日から10日を「人権週間」と定めています。

しかし世界人権宣言から数十年たった今でも世界各地では紛争が相次ぎ、無差別のテロが発生しています。日本でも児童虐待、家庭や職場における男女差別、外国の方へのヘイトスピーチなど、さまざまな問題があります。また、最近ではインターネットを悪用した人権侵害も問題となってきました。LGBT(性的少数者)の方の権利意識も高まりつつあります。

くにたち図書館では中央図書館と北市民プラザ図書館において、人権に関する本の展示をします。自らの権利を守ることと同じく、相手の気持ちを理解することについても考えてみませんか？

人権に関する本の紹介

**いのちの格差を是正する 人権としての医療・介護保障めざす提言 全日本民主医療機関連合会／著
新日本出版社(364.02)**

いのちの格差を生んだ国の制度改革との対決軸をうち出し、財政問題も視野に入れた具体的施策を提案しています。患者・利用者の実態調査も収録。「いのちの平等」をとりもどす希望の提言です。

**子どもの権利と人権保障 いじめ・障がい・非行・虐待事件の弁護活動から 児玉勇二／著
明石書店（369. 4）**

30年間、子どもの権利についての事件を担当してきた弁護士による活動の記録であり、現場からの報告。国際的な見地から、現在の日本の子どもの置かれた状況を検討し、今後のあるべき姿を提言しています。

子どもの声を社会へ 子どもオンブズの挑戦 桜井智恵子／著 岩波書店（S）

子どもたちの小さな声に耳を傾け、問題の解決や制度改善までつなげてきた兵庫県川西市の「子どもの人権オンブズパーソン」。その代表として子どもたちの状況をつぶさに目にしてきた著者が、問題解決の方法を探っています。

差別の現在 ヘイトスピーチのある日常から考える 好井裕明／著 平凡社（S）

「人は誰でも差別する可能性をもっている」という視点から、ヘイトスピーチ、ジェンダー、障害者の描かれ方、当事者研究などを切り口に、多様な差異をもつ他者とつながる道を指し示しています。

**職場のLGBT読本 「ありのままの自分」で働ける環境を目指して 柳沢正和／著他
実務教育出版（336. 4）**

全人口のおよそ5%～7%強存在するといわれているLGBT。職場環境づくりの新しい課題のひとつとして、LGBTの人たちと共に働いていくための具体的なアドバイスも盛り込んだ、働くすべての人に必読の書です。

人権は国境を越えて 伊藤和子／著 岩波書店（S）

東南アジア、イラク、福島…。虐殺や兵器による環境汚染、過酷な避難所生活などの深刻な人権侵害と、どう戦ってきたか。事実調査、政策提言、ロビー活動、被害者のエンパワーなど、国際人権NGOの現場報告です。

**人権擁護の最前線 日弁連人権擁護委員会による人権救済 日本弁護士連合会人権擁護委員会／編
小山剛／監修 日本評論社（327. 7）**

性同一性障がい、再審無罪事件、技能実習生の処遇…。近年、日弁連に申し立てられた人権救済申立事案を一举紹介。人としての尊厳とは何かを、生きた事例から考える。申立者インタビューも収録しています。

新・初めての人権 古橋エツ子／編 法律文化社（316. 1）

人権に関する様々なイメージを現在の社会的な課題と重ねつつ、用語解説、最新の情報・資料、判例・学説などを通して解説し、「人権」を論じた入門書。章構成も含め、全面的に改訂しています。

正義・ジェンダー・家族 スーザン・M. オーキン／著 山根純佳 他／訳 岩波書店（367. 1）

家族には男女間の不平等が折り重なっている。主流の政治理論・社会理論は、家族のあり方を射程に入れなかった。これらの理論を根底から問い、正義に適った家族を実現する道を切り拓く。現代フェミニズム理論の古典です。

戦後沖縄の人権史 沖縄人権協会半世紀の歩み 沖縄人権協会／編著 高文研（316. 1）

沖縄における27年間の米軍統治と、それに続く日本政府の人権政策を検証し、人権侵害の実態、沖縄の戦後史から消えていった空白の事実を、20人の編集委員・執筆者が綴る。人権を中心に語った沖縄の現代史です。

代理母問題を考える 辻村みよ子／著 岩波書店 岩波ジュニア新書（S）

生殖補助医療のめざましい進歩は、新しい権利の主張をうみ出した。諸外国と日本の現状をふまえ、憲法学や人権論の立場から「代理母」問題の議論に関わってきた著者とともに、現時点での到達点と今後の課題に迫っています。

他者の苦しみへの責任 ソーシャル・サファリングを知る アーサー・クラインマン／編他 みすず書房（498.04）

貧困・難民問題など、社会的につくられる苦しみの可視化されない実相をいかに掘り起こすか。当事者自身による「表現」を掘り起こしつつ、それをグローバルな視座から位置づけた、P. ファーマーらによる精選論集です。

沈黙する人権 石崎学／編 遠藤比呂通／編 法律文化社（323.01）

人権の定義・語り自体が、人間を沈黙させる構造悪であることを指摘し、日本社会の差別の現状を批判的に分析。人権「論」のその前に、「ユートピアと人権」「セクシュアリティと人権」など、9章で構成されています。

同性愛をめぐる歴史と法 尊厳としてのセクシュアリティ 三成美保／編著 明石書店（367.97）

性的指向の自由は、人間の尊厳に関わる人権である。本書は憲法や家族法などから同性愛の立ち位置を考えると共に、日本文学やナチズムなど、歴史に刻まれた同性愛を深く探究しています。

なぜ、いまヘイト・スピーチなのか 差別、暴力、脅迫、迫害 前田朗／編 三一書房（316.81）

私たちが生きる日本社会を、悪意と暴力に満ちた社会にしないために。「ヘイト・スピーチ」を克服する思想を鍛えるためのガイドブック。憎悪犯罪の被害と対応、ヘイト・スピーチ規制の法と政策などについて綴っています。

貧困、紛争、ジェンダー アフリカにとっての比較政治学 戸田真紀子／著 晃洋書房（312.4）

豊富な資源を有しながら、絶えぬ紛争、貧困に苦しむ人々の拡大、そしてテロの温床と化しているアフリカ。このような戦火、富の不平等な配分、旧宗主国との歴史的関係にあえぐアフリカの現実を正しく理解するための入門書です。

ヘイトスピーチ 表現の自由はどこまで認められるか エリック・ブライシュ／著 明戸隆浩 他／訳 明石書店（316.1）

豊富な事例から、ヘイトスピーチとその対応策の世界的課題をつかみ、自由と規制のあるべきバランスを探っています。在日コリアンなどへの人種差別が公然化する日本にあって、今必読の包括的入門書です。

ぼくのお母さんを殺した大統領をつかまえて。 人権を守る新しいしくみ・国際刑事裁判所

アムネスティ・インターナショナル日本国際人権法チーム／編

合同出版（329.7）

世の中はいろいろ進歩しているのに、殺戮を止める方法だけ、私たちはまだ持っていない。人類はもっと進化しなくちゃいけない…。大統領や首相でも、拷問や虐殺をおこなった者を裁けるしくみがあることを知る本です。

冬のお楽しみ会 **参加費無料**



※下谷保分室、東分室の工作は要申込。受付終了している場合があります。あとは申込不要。

●下谷保分室(☎580-7215)

日時 12月14日(月)午後3時~4時30分

内容 飛び出す3Dクリスマスカードを作ろう!

定員 親子30組(申込先着順) ※小学生以上は1人での参加可

申込 11月27日(金)午後2時~電話または直接下谷保分室へ

●青柳分室(☎540-7367)

内容 パネルシアター「ねずみのむことり」

日時 12月16日(水)午後3時30分~4時15分

出演 グループ☆キッド



●谷保東分室(☎580-7214)

内容 人形劇「赤ずきん」

日時 12月16日(水)午後2時30分~4時

出演 谷保東おはなしグループ

●東分室(☎580-7219)

日時 12月18日(金)

内容 冬的工作とお楽しみ会

午後2時30分~ 工作「紙コップ DE(で) こま」

午後3時30分~ お楽しみ会 パネルシアター「マッチ売りの少女」ほか

出演 きゃんどる

定員 40名(申込先着順)※お楽しみ会は申込不要。

申込 11月25日(水)午後2時~電話または直接東分室へ

●中央図書館(☎576-0161)

内容 人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」ほか

日時 12月19日(土) 午後2時~2時45分

出演 ながいひろこ 長井裕子さんといちごの会

●北市民プラザ図書館(☎580-7220)

内容 人形劇「ぐりとぐらのおきやくさま」ほか

日時 12月21日(月) 午後3時~3時30分

出演 しおりの会

●南市民プラザ分室(☎580-7216)

内容 人形劇「ねずみのすもう」ほか

日時 12月25日(金) 午後3時~3時30分

出演 二小おはなしの会